

審査の結果の要旨

氏名 福田祐子

スリランカは近年の経済成長に伴って地域格差が拡大しており、とくに農村部における紅茶産業従事者においては、生活格差が拡大し、子弟の教育にも影響が出ている。

そこで本論文では、「経営形態」と「こどもたちの教育達成」に焦点をあて、1) 居住地域間の教育格差を明らかにし、2) 紅茶産業における経営形態の違いによりこどもを取り巻く環境がどのように異なるのかを比較考察するとともに、3) 経営形態の相違によりこどもの教育達成にどのような違いがあるのか、また4) 経営形態間の教育格差の要因の背景について考察している。

本論文の前半は2008年から2009年にILOとスリランカ政府とが共同で行った『こどもの活動調査』データの分析である。この調査は、こどもの経済的活動や家庭における労働、これらの活動によるこどもたちの状況を明らかにするためにおこなわれた調査であるが、本論文では茶園に着目しているため、紅茶農園が集中している9県を抽出し、4居住地域（「都市」「地方」「農家」「農園」）間の比較分析を行っている。

その結果、農園部に居住しているこどもの教育達成達成（在籍状況および留年・中退経験）が低いことを明らかにしている。加えて、世帯収入、世帯主学歴、住環境、生活環境等の要因で分析したところ、住環境が教育達成に最も大きな影響を与えていることを明らかにしている。

本論文の後半は、マタラ県コタポラ郡で行った事例研究であり、2013年から2017年に行ったフィールド調査をもとに考察を加えている。

紅茶栽培の経営形態は、広大な栽培面積を有するプランテーション会社の半公営農園、大規模・中小規模の民間経営農園、そして家族経営の農家であり、これら3経営形態の違いにより生活環境と教育達成状況がどのように異なっているかの比較を行っている。

その結果、同様の自然環境、社会基盤環境、経済・政治環境である地域でも、経営形態によってこどもを取巻く環境が異なり、こどもの教育達成が異なることを明らかにしている。すなわち、教育達成状況は農家が良く、農園では劣っている。半公営農園と民間農園とで比較した場合、世帯収入は民間農園の世帯が半公営農園の世帯より高いが、それ以外の環境については民間農園の方が悪い状況にあることを明らかにしている。そして、民間農園の世帯のこどもたちの教育達成がよくないことを明らかにしている。

これらの調査を踏まえた本論文の結論として、こどもたちの教育達成を改善するためには、ひとびとの文化的背景も考慮にいれつつ、こどもたちが教育達成しやすい環境を世帯内および社会において構築していくことが必要であると提言している。

以上の論点および考察で構成される本論文は、以下の点で評価できる。

第一には、国レベルの調査結果の分析に加えて、茶業の中心地において、アンケート調査、聞き取り調査、飲料水の水質等の生活環境調査を行い、これらを組み合わせた分析をおこなっていることである。その結果、国レベルでは「農園部」のこどもたちの教育達成が低いことを明らかにしたことに加えて、農園のなかでも、半公営農園、民間農園、農家それぞれの間で差異があることを明らかにしている。

第二には、教育格差の要因として、こどもを取巻く環境とこどもの活動に着目した分析をおこなっていることである。具体的には、こどもを養育する世帯単位に着目した「世帯状況」、こどもが居住する「住環境」、こどもが居住する自宅が安全な環境であるかに着目した「生活環境」、こども自身がどのような活動をしているのかに着目した「活動状況」、そしてこれらの環境下のなかで生活する人びとがこどもの教育達成にどのような意識をもっているのかに着目した「親の意識」を、総合的に分析している。こどもの教育達成状況が低い家庭では、親世代には教育の経験がないひとびとも多く、教育レベルのイメージがつかない、またはこどもたちに長時間、働かせてしまうなどの「親の意識」という課題があることを見いだしている。

第三には、親が農園で働く家庭のこどもたちの教育達成を阻害する要因として、住居所有の有無の重要性を明らかにしたことである。住居を所有しない家庭では転職による農園間の移動が容易となり、こどもたちも親に伴い移動するが、転居先の位置によっては教育を中断せざるをえないことがあることを明らかにしている。

以上より、本論文は、スリランカ茶園におけるこどもの教育環境の格差の要因を詳細に明らかにしたものであり、その意義は大きい。なお、本論文の一部は、指導教員である山路永司との共同研究であるが、論文提出者が主体となって分析および検証を行ったもので、論文提出者の寄与が十分であると判断する。

よって、審査員は一致して博士（国際協力学）の学位を授与するに値すると判断した。

(以上、1,954 字)